

(希少な動植物の出現状況)

1. 希少な動植物について—環境影響評価書における報告の位置付け

希少な動植物の定義とは『天然記念物指定種やレッドデータブック、レッドリスト等の掲載種、その他貴重種・重要種に相当する種』としている。

環境影響評価書において「沖縄県知事の環境影響評価準備書に対する意見」^{注)}に対し、事業者の見解として「工事中に天然記念物指定種や「レッドデータブック」、「レッドリスト」等の掲載種、その他貴重種・重要種に相当する種で、環境影響評価書に記載されている動植物種以外の種の存在が埋立てに関する工事の施工区域内若しくはその近傍で確認された場合には、関係機関へ報告するとともに十分調整を図り、その保全に必要な措置を適切に講じる」こととなっている。

ここでレッドデータブック、レッドリスト等とは、沖縄県の地域特性が考慮された「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物」(レッドデータおきなわ)、環境省のレッドリスト、および水生生物を対象とした「日本の希少な野生生物に関するデータブック(水産庁編)」がある。また、「その他貴重種・重要種に相当する種」とは、法律として規定された「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の「国内希少野生動植物種」、「国際希少野生動植物種」に選定されている種が該当すると考えられる。

環境影響評価書の調査以降、希少性を判断する根拠となる環境省のレッドリスト及びレッドデータおきなわの改訂がなされていることから、新たな知見に基づき、平成30年度に出現した希少な動植物について報告する。なお、改訂状況は次表に示すとおりであり、環境省のレッドリストについては、平成30年5月にレッドリスト2018が、平成31年1月にレッドリスト2019が公開されている。レッドデータおきなわについては、平成29年5月に公開された第3版動物編に続き、平成30年6月に菌類・植物編の第3版が公開された。

注) 沖縄県知事の環境影響評価準備書に対する意見(希少な種に関する抜粋)

I. 総括的な事項に関すること(抜粋)

- (1) 埋立計画地北側の砂質性干潟及び海草類の存在する海域には、環境庁が作成した「藻類のレッドリスト」及び本県が作成した「レッドデータおきなわ」で絶滅危惧Ⅰ類及び絶滅危惧種に指定された「クビレミドロ」が生育している。(中略)したがって、当該地域については、自然環境の保護・保全に配慮するよう事業実施計画に反映されたい。

IV. 事後調査・その他に関すること(抜粋)

- (8) 工事中に貴重な動植物が確認された際は、関係機関に報告するとともに、適切な措置を講じること。

＜環境省レッドデータブック等の改訂状況＞

動物

分類群	レッドリスト 2019 (RL2019)	レッドリスト 2018 (RL2018)	レッドリスト 2017 (RL2017)
哺乳類	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)	平成 29 年 10 月 2 日 (平成 29 年 3 月 31 日)
鳥類	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)	平成 29 年 10 月 2 日 (平成 29 年 3 月 31 日)
両生類、爬虫類	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)	平成 29 年 10 月 2 日 (平成 29 年 3 月 31 日)
汽水・淡水魚類	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)	平成 29 年 10 月 2 日 (平成 29 年 3 月 31 日)
昆虫類	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)	平成 29 年 10 月 2 日 (平成 29 年 3 月 31 日)
陸産貝類・淡水貝類	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)	平成 29 年 10 月 2 日 (平成 29 年 3 月 31 日)
その他無脊椎動物	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)	平成 29 年 10 月 2 日 (平成 29 年 3 月 31 日)

注) 上段：補遺資料の公表年月日、下段(カッコ内)：レッドリストの公表年月日

植物

分類群	レッドリスト 2019 (RL2019)	レッドリスト 2018 (RL2018)	レッドリスト 2017 (RL2017)
維管束植物 (植物Ⅰ)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)	平成 29 年 10 月 2 日 (平成 29 年 3 月 31 日)
維管束植物以外 (植物Ⅱ)	平成 31 年 1 月 24 日 (平成 31 年 1 月 24 日)	平成 30 年 5 月 22 日 (平成 30 年 5 月 22 日)	平成 29 年 10 月 2 日 (平成 29 年 3 月 31 日)

注) 上段：補遺資料の公表年月日、下段(カッコ内)：レッドリストの公表年月日

＜レッドデータおきなわ（RD おきなわ）の改訂状況＞

動物

分類群	第3版	第2版	初版
哺乳類	平成29年5月17日公表	平成17年9月公表	平成7年3月公表
鳥類	平成29年5月17日公表	平成17年9月公表	平成7年3月公表
爬虫類	平成29年5月17日公表	平成17年9月公表	平成7年3月公表
両生類	平成29年5月17日公表	平成17年9月公表	平成7年3月公表
魚類	平成29年5月17日公表	平成17年9月公表	平成7年3月公表
甲殻類	平成29年5月17日公表	平成17年9月公表	平成7年3月公表
昆虫類	平成29年5月17日公表	平成17年9月公表	平成7年3月公表
クモ形類	平成29年5月17日公表	平成17年9月公表	平成7年3月公表
多足類	平成29年5月17日公表	平成17年9月公表	平成7年3月公表
貝類	平成29年5月17日公表	平成17年9月公表	平成7年3月公表

出典) 沖縄県 HP

http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/okinawa_rdb_doubutu.html

植物

分類群	第3版	第2版	初版
菌類	平成30年6月11日	平成18年3月公表	平成7年3月公表
植物	平成30年6月11日	平成18年3月公表	平成7年3月公表

出典) 沖縄県 HP

http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizenhogo/hogo/okinawa_rdb_kinrui_syokubutu.html

＜環境省版海洋生物レッドリスト（環境省版海洋生物 RL）の公表状況＞

分類群	初版
魚類	平成29年3月公表
サンゴ類	平成29年3月公表
甲殻類	平成29年3月公表
軟体動物（頭足類）	平成29年3月公表
その他無脊椎動物	平成29年3月公表

出典) 環境省 HP 「環境省版海洋生物レッドリストの公表について」

<http://www.env.go.jp/press/103813.html>

2. 希少な動植物の出現状況

希少な動植物の出現状況をまとめると表 2.1 のとおりである。

平成 30 年度に見つかった希少な動植物は、鳥類 24 種、魚類 10 種、貝類 70 種、甲殻類 29 種、その他無脊椎動物 1 種、海藻草類 14 種の計 148 種であった。

このうち、新たに見つかった種は、鳥類のアマミヤマガラ、オオムシクイ、貝類のガタチンナン、オオツヤウロコガイ、ユンタクシジミ、リュウキュウクサビザラ、甲殻類のオトヒメスナモグリ、トゲスナモグリ、ワカクサヨコバサミの 10 種であった。

表 2.1(1) 平成 30 年度の調査における希少な動植物の出現状況

No.	種名	貴重種指定元	カテゴリー	鳥類	オカヤドカリ類	トカゲハゼ	絶滅危惧種 生育監視	干潟生物生 息監視	比羅根湿地		海藻草類		その他調査 (サンゴ・海藻草類)
									汽水性生物 調査(定性)	汽水性生物 調査(定量)	監視	海藻移植開 運調査	
1	カイツブリ	RDおまなわ	準絶滅危惧 (NT)	○									
2	チュウサギ	環境省RDB	準絶滅危惧 (NT)	○									
		RDおまなわ	準絶滅危惧 (NT)										
		水産庁	希少種										
3	ヘラサギ	環境省RDB	情報不足 (DD)	○									
4	クワツラヘラサギ	環境省RDB	絶滅危惧 I B類 (EN)										
		RDおまなわ	絶滅危惧 I B類 (EN)	○									
		水産庁	絶滅危惧種										
5	ミサゴ	環境省RDB	準絶滅危惧 (NT)	○									
6	ツミ	RDおまなわ	情報不足 (DD)	○									
7	サシバ	環境省RL	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		RDおまなわ	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
8	ハヤブサ	環境省RDB	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		種の保存法	国内										
9	ヒクイナ	環境省RDB	準絶滅危惧 (NT)	○									
10	シロチドリ	環境省RDB	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		RDおまなわ	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
11	ハマシギ	環境省RDB	準絶滅危惧 (NT)	○									
		RDおまなわ	準絶滅危惧 (NT)	○									
12	アカアシシギ	環境省RDB	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		RDおまなわ	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
13	オカサシギ	環境省RDB	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		RDおまなわ	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
14	オオソリハシシギ	環境省RL	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		RDおまなわ	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
15	ホウロクシギ	環境省RL	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		RDおまなわ	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
16	セイタカシギ	RDおまなわ	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		RDおまなわ	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		水産庁	希少種										
17	ズグロカモメ	環境省RL	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		RDおまなわ	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		水産庁	絶滅危惧種										
18	エリグロアジサシ	環境省RL	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		RDおまなわ	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
19	コアジサシ	RDおまなわ	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
		種の保存法	国際										
20	カワセミ	RDおまなわ	準絶滅危惧 (NT)	○									
21	リュウキュウヨグナ	RDおまなわ	準絶滅危惧 (NT)	○									
22	サンショウクイ	環境省RDB	絶滅危惧 II 類 (VU)	○									
23	アマミヤマガラ	RDおまなわ	準絶滅危惧 (NT)	○									
24	オオムシクイ	環境省RDB	情報不足 (DD)	○									
25	ドロクイ	環境省RL	絶滅危惧 I B類 (EN)										○
		RDおまなわ	絶滅危惧 I A類 (CR)										
26	オキナワキチヌ	環境省海洋生物RL	絶滅危惧 II 類 (VU)						○				
		RDおまなわ	絶滅危惧 I B類 (EN)										○
27	シロクラベラ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧 (NT)										
28	ジャノメハゼ	環境省RL	絶滅危惧 I B類 (EN)						○	○			
		RDおまなわ	準絶滅危惧 (NT)										
29	トカゲハゼ	環境省RL	絶滅危惧 I A類 (CR)			○							
		RDおまなわ	絶滅危惧 I A類 (CR)										
		水産庁	危急種										
30	トビハゼ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)						○	○			
		RDおまなわ	絶滅危惧 I B類 (EN)										
		水産庁	希少種										
31	マングローブゴマハゼ	環境省RL	絶滅危惧 II 類 (VU)						○	○			
		RDおまなわ	絶滅危惧 II 類 (VU)										
32	マサゴハゼ	環境省RL	絶滅危惧 II 類 (VU)						○	○			
		RDおまなわ	絶滅危惧 I B類 (EN)										
33	キララハゼ	環境省RL	絶滅危惧 II 類 (VU)						○	○			
		RDおまなわ	絶滅危惧 I B類 (EN)										
34	クサフグ	環境省RL	絶滅の恐れがある 地域個体群 (LP)						○	○			
		RDおまなわ	絶滅危惧 I B類 (EN)										
35	ヒメゴザラ(ツボミガイ型)	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○					
36	ヒラマキアマオブネ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)						○				
		RDおまなわ	準絶滅危惧 (NT)										
37	ニセヒロクチカノコ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)						○				
38	ツバサカノコ (ヒロクチカノコ沖縄型)	水産庁	希少種						○				
39	クサイロカノコ	環境省RDB	準絶滅危惧 (NT)								○		
40	キンランカノコ	環境省RDB	準絶滅危惧 (NT)								○		
41	ヨゲツノブエ	環境省RDB	絶滅危惧 II 類 (VU)					○	○				
42	カヤノミカニモリ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○	○				
43	ヌノメカワニナ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○	○				
44	ネジヒダカワニナ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○	○				
45	イボウミナ	環境省RL	絶滅危惧 II 類 (VU)					○	○				
		RDおまなわ	準絶滅危惧 (NT)										
46	トヘナタリ(イトカケヘナタリ)	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○	○				
47	ヘナタリ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○	○				
		RDおまなわ	準絶滅危惧 (NT)					○	○				
48	カワアイ	環境省RL	絶滅危惧 II 類 (VU)					○	○				
49	イロタマキビ	環境省RL	準絶滅危惧 (NT)					○	○				

表 2.1(2) 平成 30 年度の調査における希少な動植物の出現状況

No.	種名	貴重種指定元	カテゴリ	鳥類	オカヤドカリ類	トカゲハゼ	絶滅危惧種 生息監視	干潟生物生 息監視	比屋根湿地		海藻群類		その他調査 (サンゴ・海藻等類)
									汽水性生物 調査(定性)	汽水性生物 調査(定量)	監視	海藻移相関 連調査	
50	マンガルトボ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○				
51	エドガワミスゴマツボ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○				
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
52	ガタチナン	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)					○					
53	オハクログイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○		
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
54	ヨウラクレイシダマシ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)					○					
55	カニノテムシロ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○	○				
56	ヒメオリレムシロ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)					○					
57	ミムシガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
58	スジイモ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○		
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
59	アンバルクチケレ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
60	ドロアワモチ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○				
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
61	ゴマセンベイヤモチ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○				
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
62	ヘソアキコミガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○				
63	シュジョコミガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○				
64	クイロコミガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○				
65	ヒダマキシノミガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○				
66	ウラシマミガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○				
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
67	コハウオカミガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)						○				
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)										
68	サカマキオカミガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○				
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
69	ホソシジヒリガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○		
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
70	アコヤガイ	水産庁	減少種								○		
71	ハボウキガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○		
72	ショウコイツキガイ (イセシラガイ)	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
73	ウラキツガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
74	チヂミウメノハナ(チヂミウメ)	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)					○					
75	カラツキガイ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)					○					
76	オオツヤウロコガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
77	ミナミウロコガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)						○				
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
78	ユンタクシジミ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
79	オサガニヤドリガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
		RDおきなわ	情報不足(DD)										
80	ナタメケホリガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
		RDおきなわ	情報不足(DD)										
81	オキナフヒガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
82	リュウキュウアソガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
83	イソハマグリ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
		水産庁	減少種										
84	リュウキュウナムノコ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
85	ニッコウガイ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)					○					
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
86	ダイミョウガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
87	ヒラセザクラ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○		
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
88	ヌメイチョウシラトリ (イチョウシラトリ)	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○	○				
89	リュウキュウサビザラ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
90	ハスメザクラ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
91	トガリユウシオガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○	○				
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
92	マスオガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○	○				
93	アシベマスオ	環境省RL	情報不足(DD)										
94	タガソチモドキ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
95	リュウキュウヒルギシジミ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
		RDおきなわ	情報不足(DD)										
96	ヤエヤマヒルギシジミ (シレナシジミ)	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)						○				
		水産庁	減少種										
97	ユウカゲハマグリ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
98	イオウハマグリ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○	○				
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
99	マダライオウハマグリ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)					○					
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
100	リュウキュウアサリ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○					
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
101	ダテオキシジミ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類(CR)					○	○				
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
102	ハナグモリ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)					○	○				
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
103	クシケマスオ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
104	コオキナガイ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)					○					
105	スジホシムシ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)					○					

表 2.1(3) 平成 30 年度の調査における希少な動植物の出現状況

No.	種名	貴重種指定元	カテゴリー	鳥類	オカヤドカリ類	トカゲハゼ	絶滅危惧種 生育監視	干潟生物生 息監視	比叡標湿地		海産草類		その他調査 (サンゴ・海藻草類)
									汽水性生物 調査(定着)	汽水性生物 調査(定着)	監視	海藻移植圃 運調査	
106	シバエビ	水産庁	減少傾向										○
107	マンローブテッコウエビ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)						○				
108	オトメスナモグリ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
109	トゲスナモグリ	環境省海洋生物RL	情報不足(DD)										
110	フビエスナモグリ	環境省海洋生物RL	情報不足(DD)										
111	オキナワアナシヤコ	水産庁	減少種						○				
112	オオナキオカヤドカリ	天然記念物	国指定		○								
		環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)										
113	オカヤドカリ	天然記念物	国指定		○								
		水産庁	減少種										
114	ムラサキオカヤドカリ	天然記念物	国指定		○								
115	ナキオカヤドカリ	天然記念物	国指定		○								
116	コムラサキオカヤドカリ	天然記念物	国指定		○								
117	ヒルギノボリヨコバサミ	環境省海洋生物RL	情報不足(DD)							○			
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
118	ワカサヨコバサミ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)					○					
119	アマミメコバサミ	環境省RL	情報不足(DD)										
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
120	アカテノキリガザミ	環境省海洋生物RL	情報不足(DD)										
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
		水産庁	減少種										
121	アミノコギリガザミ	水産庁	減少種							○			○
122	フジテガニ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)							○			
123	ミゾアシハラガニ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)							○			
124	アシナガベンケイガニ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)							○			
125	モクスガニ	水産庁	減少傾向							○			
126	オキナワヒライソガニ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)							○			
127	ミナミアシハラガニ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)							○			
128	ヒメヒライソモドキ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)							○			
129	タイワンヒライソモドキ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)							○			
130	ヒメマドオサガニ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)							○			
131	タイワンヒメオサガニ	RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)							○			
132	ホルトハウスオサガニ	環境省海洋生物RL	準絶滅危惧(NT)							○			
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
133	メナガオサガニ	RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)							○			
134	シオマネキ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
		RDおきなわ	絶滅危惧ⅠA類(CR)							○			
		水産庁	希少種										
135	ヤバネモク	環境省RL	準絶滅危惧(NT)										○
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
136	クビレミドロ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)				○						
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)										
		水産庁	絶滅危惧種										
137	クビレズタ	環境省RL	情報不足(DD)										○
138	ナガミズタ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)										○
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
139	ウスガサネ	環境省RL	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										○
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅱ類(VU)										
140	ホソエガサ	環境省RL	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)										
		RDおきなわ	絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)										
		水産庁	絶滅危惧種										
141	カサノリ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)										
		RDおきなわ	準絶滅危惧(NT)										
		水産庁	危急種										
142	リュウキュウスガモ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
143	ウミシルモ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
144	ウミジグサ(ニラウミジグサ)	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
145	マツバウミジグサ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
146	ベニアマモ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
147	リュウキュウアマモ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	
148	ボウバアマモ	環境省RL	準絶滅危惧(NT)								○	○	

表 2.1(4) 平成 30 年度の調査における希少な動植物の出現状況

分類	総種数	各調査での出現種数									
		鳥類	オカヤドカリ類	トカゲハゼ	絶滅危惧種 生育監視	干潟生物生 息監視	比屋根湿地		海藻草類		その他調査 (サンゴ・海藻草類)
						汽水性生物 調査(定性)	汽水性生物 調査(定量)	監視	海藻移植開 連調査		
鳥類	24種	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚類	10種	0	0	1	0	0	6	7	0	0	2
貝類	70種	0	0	0	0	44	32	0	8	0	0
甲殻類	29種	0	5	0	0	8	16	0	0	0	2
その他無脊椎動物	1種	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
海藻草類	14種	0	0	0	1	5	0	0	7	7	4
合計	148種	24	5	1	1	58	54	7	15	7	8

注) 表中の貴重種の指定状況における凡例を以下に示した。ただし、以下の凡例には表内に出てこない区分も示した。

- 天然記念物『昭和25年法律第214号「文化財保護法」』
 特別：国指定特別天然記念物
 天然：国指定天然記念物
 県：県指定天然記念物
 市町村：市町村指定天然記念物
- 種の保存法『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年6月5日 法律第75号）』
 国内：（国内希少野生動植物種）本邦に生息し又は生育する絶滅の恐れのある野生動植物の種。
 国際：（国際希少野生動植物種）国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種。
- 環境省改訂版RL『「レッドリスト2017の公表について」（環境省，2017年）』
 EX：絶滅：我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。
 EW：野生絶滅：飼育・栽培下でのみ存続している種。
 CR+EN：絶滅危惧I類：絶滅の危機に瀕している種 - 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生の存続が困難なもの。
 CR：絶滅危惧II類：絶滅の危機に瀕している種 - ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
 EN：絶滅危惧IB類：絶滅の危機に瀕している種 - IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
 VU：絶滅危惧II類：絶滅の危険が増大している種 - 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。
 NT：準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種 - 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」して上位ランクに移行する要素を有するもの。
 DD：情報不足：評価するだけの情報が不足している種。
 LP：絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
- 環境省海洋生物RL『「環境省版海洋生物レッドリストの公表について」（環境省，2017年）』
 EX：絶滅：我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。
 EW：野生絶滅：飼育・栽培下でのみ存続している種。
 CR：絶滅危惧I類：絶滅の危機に瀕している種 - ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
 EN：絶滅危惧IB類：絶滅の危機に瀕している種 - IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
 VU：絶滅危惧II類：絶滅の危険が増大している種 - 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。
 NT：準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種 - 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」して上位ランクに移行する要素を有するもの。
 DD：情報不足：評価するだけの情報が不足している種。
 LP：絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
- 水産庁RDB『「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」（水産庁，2000年）』
 絶滅危惧種：絶滅の危機に瀕している種・亜種。
 危急種：絶滅の危険が増大している種・亜種。
 希少種：存続基盤が脆弱な種・亜種。
 減少種：明らかに減少しているもの。
 減少傾向：長期的に見て減少しつつあるもの。
- 改訂・沖縄県RDB『「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第3版—動物編—」（沖縄県，2017年）』
 改訂・沖縄県RDB『「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（植物編）—レッドデータおきなわ—」（沖縄県，2006年）』
 EX：絶滅：沖縄県ではすでに絶滅したと考えられる種。
 EW：野生絶滅：沖縄県では飼育・栽培下でのみ存続している種。
 CR+EN：絶滅危惧I類：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種 - 沖縄県では現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。
 CR：絶滅危惧II類：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種 - 沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
 EN：絶滅危惧IB類：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種 - 沖縄県ではIA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
 VU：絶滅危惧II類：沖縄県では絶滅の危険が増大している種 - 沖縄県では、現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが考えられるもの。
 NT：準絶滅危惧：沖縄県では存続基盤が脆弱な種 - 現時点での絶滅危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。
 DD：情報不足：沖縄県では評価するだけの情報が不足している種。
 LP：絶滅のおそれのある地域個体群：沖縄県で地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの。

3. 希少な動植物に対する対応方針

事業者としては、事業の実施にあたって環境影響評価書を作成し、埋立予定地内の環境は喪失することになるが、埋立予定地以外の環境に対して極力工事の影響を少なくし、埋立予定地以外の環境を保全していくものと考えている。よって今後も、これまで行ってきた干潟生物生息監視調査などの各種調査を通じてモニタリングを継続するとともに、埋立予定地以外の周辺環境の保全に努めていくこととする。